



北鎌倉台峯トラスト 北鎌倉の景観を後世に伝える基金

# 会報 北鎌倉だより

2001年7月 NO・5



NPO法人化記念シンポジウム  
(2001・6・3 北鎌倉女子学園)

## 目次

- NPO 法人化記念シンポジウム
- 活動報告 (2001年1月～)
- 山は泣いている
- 設立時財産目録等・2001年度事業計画
- 北鎌倉文学散歩
- 談話室 (会員欄)
- 伝言板



NPO 法人化記念シンポジウム  
**「自然との共生（ともいき）を語る」**  
 —緑萌ゆる台峯の森からの熱きメッセージ—

5月1日、「北鎌倉の景観を後世に伝える基金」（北鎌倉台峯トラスト）は、念願のNPO（特定非営利活動）法人の認可を受けました。NPO法人化を記念し、上記シンポジウムを開催しました。北鎌倉女子学園からは、会場を無償で提供していただくと同時に会場の設営等で多大な御協力をいただきました。また、鎌倉市、(財)鎌倉風致保存会、(財)かながわトラストみどり財団、(社)日本ナショナル・トラスト協会に後援をしていただきました。ポスターの掲示等では北鎌倉の商店街の皆様には、大変お世話になりました。

シンポジウムの詳しい内容については、今秋発刊予定の機関誌「北鎌倉の風」第3号で、お伝えします。パネリストのなだ、竹内、今井氏はそれぞれの体験を踏まえて、自然との共生の思想を語りましたが、「人間が自然を守る」のではなく、逆に「人間が自然に守られている」との思いを強くしました。



▲ パネリスト3氏

▼地権者の姿も会場に



アジサイが見頃だった北鎌倉女子学園



用意した300席はほぼ埋まった



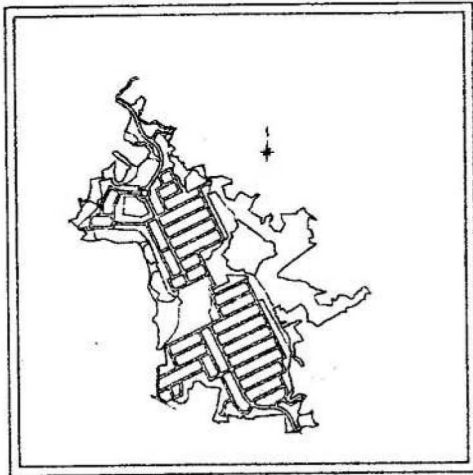
# 活動報告 (2001年1月~)

- 1月 神奈川県にNPO 法人化申請
- 2月 地権者、まちづくり条例に基づいた宅地開発計画公開  
地権者、保全協議の中で宅地開発計画提示
- 4月 北鎌倉台峯トラストへの地権者の説明会

## 地権者の構想案

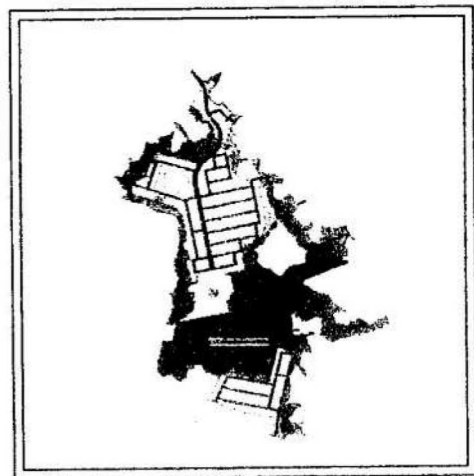
### 区画整理事業基本構想案

区画数 576宅地  
緑地率 40.6%



### 保全協議で提示した宅地開発計画

区画数 350宅地  
緑地率 約63%



地権者の説明会



第一回理事会 (正会員も参加)

青木由有子と「北鎌倉の風」(鎌倉から地球の緑を回復させる・キャンペーン歌)を歌おう

- 5月 神奈川県、NPO 法人化申請を認可  
第一回理事会  
鎌倉市へまちづくり条例に基づく意見書提出
- 6月 NPO 法人化記念シンポジウム  
円覚寺前での街頭募金 (3)



青木由有子と「北鎌倉の風」を歌おう



## 設立時財産目録等・2001年度事業計画

### □財産目録（2001年5月11日現在＝設立時）

(1) 資産合計 9,741,417円

(2) 負債合計 0円

---

正味財産 9,741,417円

※詳細な財産目録、収支計算書、貸借対照表、監査報告の閲覧希望が  
ありになる場合は、事務局に御連絡下さい。

### □会員数（2001年6月現在）

個人会員 632人

法人会員 10件

### □2001年度事業計画

#### (1) 緑地の保全・管理事業

1・個人地権者との話し合いを継続的に行い、緑地の保全について相互理  
解を深める

2・行政との定期的な話し合いによる台峯緑地保全地域の確保

#### (2) 自然保護運動の普及・研修事業

1・なだ いなだと台峯をあるく

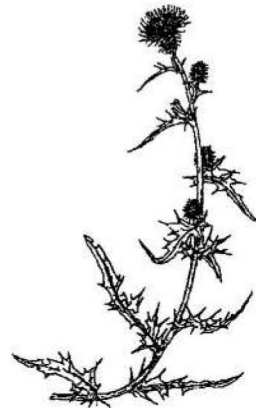
2・講演会の開催

3・街頭募金

#### (3) 広報・出版事業

1・機関誌「北鎌倉の風」第3号の発行

2・会報「北鎌倉だより」の年2回発行



#### (4) 他の自然保護団体との交流・協力事業

1・(社)日本ナショナル・トラスト協会の全国大会に参加

2・「小網代の森を守る会」(ナショナル・トラスト団体)との交流





## 円覚寺の山門

和泉 あき理事（相模女子大学名誉教授）

北鎌倉の住人としては新参者の私ですが、以前から学生と一緒に、よく文学散歩に来ていました。円覚寺から東慶寺、明月院を経て鎌倉へ、というお定まりのコースを何回も歩きました。円覚寺の帰源院はひろく知られているように、若き日の夏目漱石が参禅のために逗留した塔頭です。これまた御存知の通り、のちに、この時の体験を漱石は、小説「門」の中で描きました。ちなみに、「門」は漱石の中では地味な作品ですが、たとえば中野好夫氏などは最も高く評価しておられました。漱石が参禅したのは、横須賀線が、横須賀まで開通してまもなくのことで、北鎌倉駅はまだできていませんでした。多分、大船から歩いたのでしょう。「山歩き」の時に教えていただいたのですが、当時の円覚寺の山門は、今の鎌倉街道を越えたところにあったのだそうです。漱石は、主人公宗助の思いに託して、自分のような分別を持たず、新年に厚い善男善女が扉のカンヌキを開けて、門内に入って行くのを羨ましく思います。「彼は門を通る人ではなかった。又門を通らないで済む人でもなかった。要するに、彼は門の下に立ち竦んで、日の暮れるのを待つべき不幸な人であった」と書いています。

そんな話をしてから明月院に向かうのでした。「あら、水子地蔵なんかが出来てるわ。この前来た時にはなかったのに」。そういった私のことには、やや非難がましい響きがあったかもしれません。ところが、何人かの学生が、「わあ、私、いつご厄介になるか分からないから拜んでいこう」と、そちらへ小走りに向かっていきました。私はいささか呆れて「そんなご厄介にならなくてすむように、よく考えて慎重に行動しなさいよ」と、うしろから声をかけたのでした。学生の一人が振り返って「でも、私、先生みたいに門を通らないですむ人じゃないもの」と言いました。一瞬、虚を衝かれた私は、それでも心の中で、「まあ、なかなかうまく切り返してくれるじゃないの」と思ったことでした。いうまでもなく、私はおそらく彼女たちに見えていたであろうほど、迷いと無縁な人間ではありませんが…。

それから十数年の歳月が過ぎましたが、それでも時に、もう四十の坂にかかっているであろう彼女が、その後どのような人生を歩いたろうか、と思うことがあります。そして、私は、といえば、思いがけず円覚寺の近くに住まいすることになって、相変わらず迷い多い心を抱えたまま、始終、山門の前を行ったり来たりして居るのでした。もっとも、最近は休日など、漱石いうところの「善男善女」が多すぎて、門を通るのも、門の前に立ち竦むのも容易ではないようですけれど。それでも再び「門」の漱石の言葉をかりれば、「いらかを圧する杉の色が……黒く……後に聳え」ている様子は、今も変わっていません。



円覚寺

## 談話室 (会員欄)

「なだ いなだと北鎌倉周辺をあるく」へ参加していただいた方々からの感想です。

先日は途中で失礼してしまいましたので、郵送させていただきます。今回は3回目でしたが季節の移り変わりがはっきり分かり、きっと昔はもっと自然の生活があったであろうと想像しながら楽しませていただいております。自然を守る集いに少しでも協力したりお役に立てることがあったらと、“一石三鳥”くらいの満足感で参加を楽しませていただいております。障害者も共に楽しませていただき、また、皆様の理解も深めていただけると大変嬉しく思います。よろしく。  
(前田郁子)

緑色視障協婦人部部長をしていらっしゃる全盲の方です。(代筆前田)

今回大堀悠佳さんに声をかけられ、同方向に住んでいる大森さん(ボランティア)の参加を知り、お願いして出席しました。こんなに素晴らしい集まりがあり、参加し、共に楽しませていただき、自然の素晴らしさ、重要さを身にひしひしと感じました。他の人たちにこの自然環境を守ることの重要さを伝えたいと思っております。次回からも是非参加させていただきたいと思い、仲間に入れて下さったことを感謝しております。



ハンノキ



ハンゲショウ：本格的な夏が近付いてくると葉の半分が、お化粧をしたように白くなる



群生するハンゲショウ

## 伝言板

**【組織と人事】** NPO法人化に伴い、組織が変更になりました。基金の運営と財産管理をしてきた委員会が廃止され、理事会が基金の運営と財産管理を行います。理事会には正会員も議決権はありませんが、出席し、運動の発展に協力していただきます。

### ＜理事会メンバー＞

理事長 なだいなだ 副理事長 石黒ひで 常任理事 森泉定男

理事 小林京子 新植幸子 小田原茂夫 齋藤博子 楢原一郎

野口稔 和泉あき 望月昌夫 望月眞樹

監事 吉野功 林雄一郎

＜正会員＞ (NPO法上の社員で、総会の議決権を持っています)

前記＜理事会メンバー＞

市川節子 岩瀬豊治 上田隆一郎

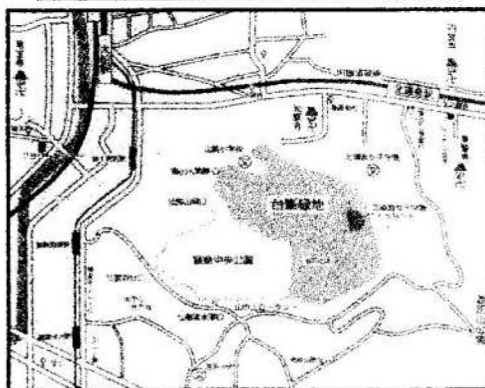
塩原純子 平尾光司、吉野功 渡辺利勝



### 【定例行事】

「なだ いなだと北鎌倉周辺をあるく」

毎月第3日曜日午前9時に北鎌倉・東慶寺手前の山ノ内公会堂に集合、主に台峯から鎌倉中央公園まで、鎌倉自主探鳥会のメンバーの案内で歩きます。解散は正午頃。雨の日はフリートーク。



### 【ホームページ新規開設】

準備中

### 【機関誌「北鎌倉の風」第二号】

「台峯の生きとし生けるものの四季」のカラー写真特集です。郵送料込み500円でお分けしています。

### 新規会員募集中！

一般年会費 2000円です。詳細は事務局にお問い合わせ下さい。

\*緑と古刹が織り成す安らぎの街なみ保全に力を貸して下さい\*

発行日…2001年7月1日

発行者…NPO法人 北鎌倉の景観を後世に伝える基金

事務局…〒247-0062 鎌倉市山ノ内1045

TEL/FAX 0467-22-4693

